

## 文化・芸術

### 名画の扉

大川美術館特集展示から

石内都さんは、生ま  
れてから6歳までを過  
ごした桐生と、母の実  
家があつた笠懸を中心  
に撮影した写真を19  
76年と83年に発表し  
ています。

今回紹介するのは83  
年の「上州」です。初期  
3部作とされる初個展  
「絶唱、横須賀ストーリ  
ー」(77年)、写真集「A  
PARTMENT」(78  
年)、写真集「連夜の街」  
(81年)の後に試みられ  
た撮影でした。笠懸、  
桐生からさらには富岡  
へと、あぜ道や山や空、  
川べり、電線のある  
街、駅かいわいなどを  
とらえています。

本作は16日から開  
催される特集展示「石  
内都―『はるかなる間』  
と『上州』より」に出  
品されます。(小此木)

当時、この撮影につ  
いて石内さんは「今居  
る場所、つまり東京か  
ら東京を取り巻く関東  
平野の中へ初めての  
旅」であったと述べて  
います。

ファイルに焼き付け  
られた「上州」は、横  
須賀と桐生との、この  
時点での石内さんの心  
理的、物理的な距離感  
の定着であったのかも  
しません。この撮影  
からすでに40年がたと  
うとしています。

### 「上州 #5」

1982年、ゼラチンシルバープリント  
25・4cm×30・5cm

